

しゃくなげ

学校の教育目標 志をもち 仲間とともに創り出す生徒



「起業家精神」に感化されて

校長 福井敏彦

岐阜大学との地域協学で紹介いただいた岐阜大学起業部に、総合的な学習で「スイーツ」をテーマにしている生徒4名が訪問しました。岐阜大学起業部は、上原雅行教授が5年前に学生有志と立ち上げられた大学公認団体です。8名の部員さんが対応してくださいました。

「自ら課題を見つけ、行動を起こして新たな価値を生み出す」起業家精神あふれる学生さんの姿に感化され、主体的に交流する生徒の頼もしさを感じることができました。

本質を問われる鋭い質問に自分の言葉で回答しようとする姿

起業部の方は紹介の後、生徒に対して鋭い質問を投げられました。

「誰の、どんなニーズを、どのように満たしたい?」「訪れた方の体験価値をどう高める?」普段からこうした視点でブラッシュアップしているのでしょう。相手が中学生であっても容赦ありません。

素晴らしかったのは、そうした質問に一人一人が自分の言葉で語ろうとチャレンジできたこと。その結果「限定感が出せるといいよね。」と具体的なアドバイスを引き出すことができました。

またそうした体験を「楽しかった」と言っていました。「本質を追究すること」を「楽しい」と言えるのは学生さんの主体性・起業家精神に感化された証拠です。かけがえのない体験です。

自分の思いをきちんと質問する姿

「最後に感想を聞かせて」と振られ、生徒が一人ずつ話す場面がありました。その時に「質問してもいいですか?」といって自分から聞こうとする姿がみられました。

「どのようなことを大切にしたいか?」という質問に、学生さんは「とにかく大きな声を出すこと」と端的に答えた後、自身の体験談を面白おかしく紹介してくださいました。

生徒の思いに寄り添った回答をしてくださった学生さんに感心するとともに、この機会を大切に自分の知りたいことを聞こうとする主体的な姿に感動しました。自信をつけるよい場になりました。

夏休みはどの子も1学期に掲げたテーマの追究をします。夏休みにしかできないことを計画している子もいることでしょう。まずはチャレンジすることを楽しんでほしいと思います。

2学期は「中間発表会」からスタートします。1学期・夏休みのチャレンジを振り返り、まとめることで、自身のよさや可能性に気付けることを願っています。

保護者の皆様へ ～2学期から日課表を変更します～

1学期部活動のない日は15時台のバスが利用できるよう日課を作成し取り組みました。生徒たちはゆとりのない日課であっても時間を守り、精一杯取り組んできました。一方で時間にゆとりがあれば、もっと生徒の主体性や創造性、安心感が高まったのではないかと考えました。については2学期より裏面のような下校時刻となりますことをご理解いただきご協力願います。

